

<NEWS RELEASE>

報道関係各位

2023年8月24日

GINZA SIXリテールマネジメント株式会社

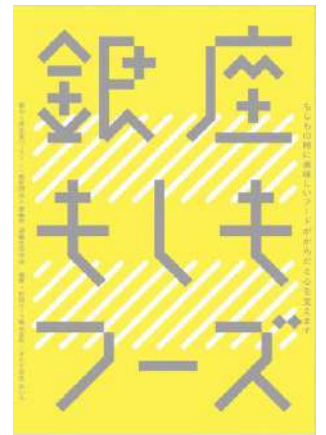
“食”を通じて防災を考える 「銀座もしもイブニングカフェ at 三原テラス」 9月1日(金)～9月3日(日)開催

銀座エリア最大の商業施設「GINZA SIX」では、関東大震災から100年となる、2023年9月1日(金)「防災の日」～9月3日(日)までの3日間、2F三原テラスにて、“食”を通じて防災を考える「銀座もしもイブニングカフェ at 三原テラス」を開催します。

“もしも”銀座で大地震に遭遇したら…「むやみに帰らない」という選択肢があります。東京都は、救助・救命活動の妨げや、徒歩帰宅中に余震等での二次災害に遭うおそれがあるため、災害発生から72時間はむやみに移動せず、安全な場所に留まること(＝一斉帰宅の抑制)を推奨しています。※東京都帰宅困難者対策ハンドブック

GINZA SIXでも、構造体耐震安全性を有し、中央区との協定により、帰宅困難者3,000人の受け入れに対応できるよう、最大72時間の食料や水、毛布など災害時に必要な物品を保管する備蓄倉庫を整備しているほか、地下3Fの文化・交流施設「観世能楽堂(多目的ホール)」等を一時滞在スペースとして活用できるよう備えています。

GINZA SIXでは、日本の避難所の環境改善に向けたキーワード「TKB48」(トイレ、キッチン、ベッドを48時間以内に避難所に整備する)を提唱し、災害関連死の問題に取り組む避難所・避難生活学会及び銀座に店を構える「資生堂パーラー」、「GINZA innit」、「空也」とコラボレーション。“食”を通じて、今後の銀座の街の防災を考えるきっかけの場を創出します。



銀座もしもイブニングカフェ at 三原テラス

「銀座もしもイブニングカフェ at 三原テラス」で提供されるのは、電気やガスを節約しながら、キッチンにある食材と非常食を使ってシェフが作ったという設定の「もしもディッシュ48H」。資生堂パーラーの総調理長にレシピを考案いただきました。

【日時】2023年9月1日(金)～9月3日(日) 16:00～20:00

【場所】GINZA SIX 2F 三原テラス

【内容】①資生堂パーラー総調理長考案「もしもディッシュ48H」 1日限定50食提供

お一人様1食。ワンドリンク(¥550～)のオーダーが必要です。

②「銀座もしもフーズ」リーフレット配布

③「TKB48」に関する啓発POP、段ボールベッド展示



「もしもディッシュ48H」 48時間の設定、調理人が考案する理由

避難所・避難生活学会は、トイレ、キッチン、ベッドを48時間以内に避難所に整備することが、避難している方々の心身の健康のために必要と唱えています。

日本と同じ災害大国のイタリアでは、本格的な大量の調理が可能な大型のキッチントラックをイタリア全土で数多く保有し、日頃から訓練を受けている調理人が、発災後はボランティアとしてトラックとともにすぐに被災地に駆けつけ、食事を考案し調理します。メニューは、パスタ、肉など出来立ての温かい食事のほか、野菜、フルーツ、食後のコーヒーなど、1食を複数の品で構成し、朝昼晩で変わります。

今回は、このイタリアの避難所の食事を参考に、日本の一般的な防災備蓄食では偏りがちな栄養の補完を目指し、資生堂パーラー総調理長に3品の「もしもディッシュ」を考案していただきました。



「もしもディッシュ48H」3品



もしも野菜スープ



もしもチキンライス



もしもコブサラダ



資生堂パーラー
第14代目総調理長
倉林 龍助 (くらばやし りゅうすけ)

銀座にはレストランやバー、パンケットなどがたくさんあります。もしもの時にそのキッチンで、あるいはご自宅の防災備蓄食の入れ替えの際に今回のレシピをお役立ていただけると嬉しいです。

「もしもキチンライス」に使用されているのは、「GINZA innit」の「IZAMESHIごはん」



IZAMESHI(イザメシ) <https://izameshi.com/>

杉田エースが開発を手がける長期保存食「IZAMESHI」は、“食べない備蓄食から、おいしく食べる長期保存食へ”をコンセプトに、災害時の非常食としてはもちろん、いつもの食事に一品加えたいとき、旅行やアウトドアシーンなど日常生活におけるさまざまな“いざ”に活躍する、おいしい長期保存食です。2021年9月には、「IZAMESHI Dish(イザメシディッシュ)」を東京都中央区銀座7丁目にオープンしました。産地直送の国産野菜やフルーツなど、素材にもこだわった安心・安全でヘルシーなお食事やドリンクを提供しています。

※三原テラスでは、IZAMESHIのラインナップからご商品の紹介を致します。



「IZAMESHIごはん」は、しっかり炊き上げた後、乾燥させているため、炊き立ての香りとお米の芯から甘みを感じます。加熱なし、水だけでの調理が可能です。賞味期限:5年 ※製造日より

「銀座もしもフーズ」リーフレット

イベントで配布するリーフレットには、「一斉帰宅の抑制」や「TKB48」についての知識や、「もしもディッシュ48H」のレシピが掲載されています。さらに、「もしもディッシュ」の番外編として、「もしも」の時に役立つ「もしもスイーツ」をご紹介します。



「もしもスイーツ」

避難生活や、その後の帰宅時の強い味方になるのが、ハンディサイズのスイーツです。「もしも」に備え、いつもバッグに入れておくと安心です。リーフレットでは、「もしも」の視点で探した、GINZA SIXや銀座で購入できる「もしもスイーツ」をご紹介します。B2Fフードエリアのショーウィンドウでも展示します。

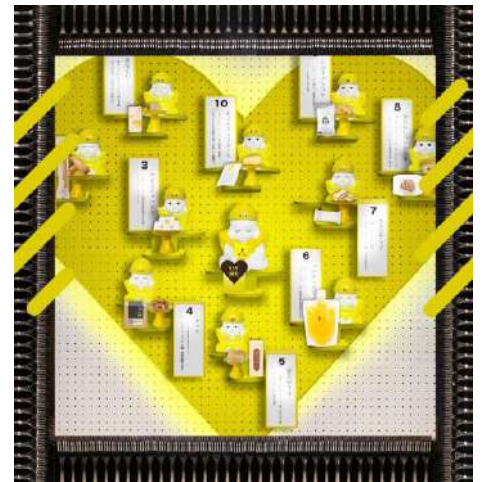
(もしもスイーツ一例)



ぎんざ空也 空いる
「かぜ」



資生堂パーラー 銀座本店ショップ
「金平糖」



B2F ショーウィンドウイメージ

「TKB48」を啓発する段ボールベッドの展示



会場内には、避難している方々の心身の健康のために必要な睡眠の質を向上させる段ボールベッドを設置し、避難所・避難生活学会が提言する日本の避難所の環境改善に向けたキーワード「TKB48」(トイレ、キッチン、ベッドを48時間以内に避難所に整備する)を啓発します。

一般社団法人 避難所・避難生活学会 常任理事・事務局 水谷嘉浩氏コメント

どこかで災害が起きた時、住民の大変な苦勞をニュースで見ることがありますが、被災した人々は口を揃えてこう言います。「昨日までまさか自分が被災するとは思っていなかった！」

災害は、ある日突然に自分たち家族や地域を襲ってきます。私たちにとって自然災害は強敵です。しかし、被災した人々にとって本当の強敵は「絶望」なのです。絶望は生きる意欲を奪ってしまうからです。私たちが目指すのは、TKB48！被災した人々が、元気の出るような支援を目指しています。

〈段ボールベッドが必要な理由〉

体育館の床に雑魚寝をすると、だんだん疲れが溜まり元気を奪っていきます。段ボールベッドは、エコノミークラス症候群や床の埃を吸い込むなどの健康被害を防ぐことに繋がります。足腰の悪い方も寝起きの動作がしやすく、腰掛けることもできます。災害時には、迅速に避難所に届けるための防災協定を全国の自治体と締結する活動が、避難所の環境改善の第一歩です。避難所に段ボールベッドを届けると、多くの人々が「これで明日から頑張れます」と笑顔になってくれます。避難所に元気を届ける。これが段ボールベッドなのです。

＜GINZA SIX 基本情報＞

【TEL】03-6891-3390（GINZA SIX総合インフォメーション 受付時間10:30～20:30）

【ADDRESS】〒104-0061 東京都中央区銀座6丁目10-1

【HP】<https://ginza6.tokyo/>

□営業時間 ショップ・カフェ(B2F～5F) 10:30～20:30 レストラン(6F、13F) 11:00～23:00

※一部の店舗、レストランは営業時間が異なります。

※詳細は公式ホームページをご確認ください。

※営業日時については、変更になる場合がございます。

□休館日 不定休

□アクセス 東京メトロ 銀座線・丸の内線・日比谷線「銀座」駅から地下通路にて直結
駐車場完備（お買い上げ金額に応じたサービス有）

＜本件に関する報道関係者からのお問合せ先＞

GINZA SIX PR 事務局（株式会社サニーサイドアップ内）

担当：高田（080-7647-3019）、松野（090-9836-4769） FAX：03-5413-3050 E-MAIL：ginzasix_pr@ssu.co.jp